



教育推進室だより

第13号

平成29年10月13日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
電話60-1241

チーム学校、チーム武蔵野を支える力 ～教育推進室への期待～

武蔵野市立小中学校長会 会長 金子 圭子（桜野小学校長）



武蔵野市に教育推進室が開設されてから3年目となりました。教育推進室だより13号への寄稿依頼を受けて、これまでの教育推進室だよりを読み返してみると、その5つの機能である「相談・支援」「研修」「教育情報収集・発信」「調査・研究」「ネットワーク構築・コーディネート」が

それぞれ着実に実を挙げ、学校を支える大きな力になっていることを改めて感じます。

ここ数年「チーム学校」という言葉がよく使われるようになりました。チーム学校とは、狭い意味では、学校がチームとしての一体感をもって組織的に教育活動を行うことと言えます。教職員の平均年齢が下がり、年齢構成にも二極化が見られる今、それぞれの個性や経験を踏まえながら、チーム一丸となって学校の課題に向き合っていくことが大切であり、そのためのチームワークが学校の組織力や教育力の向上につながると考えています。

しかし、近年、社会や経済の急激な変化に伴い、子どもや家庭、地域社会が抱える問題も複雑化・多様化しています。学校においても、生活指導や特別支援教育等に関する課題の中には、学校や教員だけの対応では十分に解決が図れない課題も増えてきています。そこで、現在、各学校には専門的な立場で学校を支える心理士スタッフ、スクールカウンセラー、巡回相談員などが配置されています。また、必要に応じてスクールソーシャルワーカー、サポートスタッフ、ティーチングアシスタントなどを活用することもできる体制が整っています。外部人材を活用し連携や役割の分担を図ることで、教員が自らの専門性を十分に発揮し、教育活動をより充実させることができることから、このような体制を広い意味でのチーム学校ととらえ大いに活用しながら学校の機能を高めていきたいと思えます。

さて、チーム学校の中には、若手教員研修を担う教育アドバイザーや地域と学校を結ぶ地域コーディネーターも今や欠かせない存在と言えるでしょう。校内の研修（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）を経て日々成長する若手教員ですが、年間を通して継続的に指導を受けることのできる若手教員研修は指導力向上に効果的なだけでなく、教育アドバイザーとの信頼関係の中で相談や支援を受けることが安心感や自信につながっているようにも感じています。さらに、教育推進室だよりで紹介される市内の学校や地域の様子、学校支援に関する様々な情報は、チーム学校からチーム武蔵野としての意識を高めることにも役立っていると思えます。

これからも、学校をはじめ武蔵野市の教育に携わる多くの方々がチーム学校、チーム武蔵野の一員として、「知性・感性を磨き、自ら未来を切り拓く武蔵野の教育」という基本理念に基づき、やりがいや誇りをもって協働し、教育の成果を最大限にあげていくために、教育推進室が果たす役割はますます大きくなっていくものと確信しています。今後も、学校へのきめ細やかな支援に大いに期待したいと思います。

小・中学校に 校内無線LAN・タブレットを整備

市教育委員会では、今年度小・中学校に校内無線LAN環境を整備し、普通教室に教員が授業で活用するタブレットを1台ずつ導入するとともに、特別支援教室及び難聴通級指導学級に児童・生徒および教員用タブレットを導入しました。また、校内のPC教室にある既存のデスクトップPCをタブレットに入れ替え、PC教室だけでなくタブレット41台を持ち出して普通教室においても児童・生徒が活用することができる環境を整備しています。

夏季休業中には、市内の教員を対象にタブレットを中心としたICT操作・活用研修会を3日間実施しました。参加した教員からは「タブレットを授業で活用するイメージがもてた。」「タブレットを使うことで発表がしやすくなる。」「授業の幅が広がりそう。」といった意見が聞かれました。



研修会の様子

今後も段階的に小・中学校のICT環境整備を進め、子どもたちの学習意欲の向上や分かる授業を目指して、タブレットなどのICT機器を教育活動に積極的に活用していきます。

市立小・中学校教職員、小学校高学年児童、中学校生徒の 救命講習受講の取組に対し 東京消防庁から感謝状

市教育委員会では、児童・生徒に応急手当等の知識・技能を身に付けさせ、地域防災の担い手となるよう支援するため、武蔵野消防署の協力のもと、小学校高学年で応急救護訓練、中学校で普通救命講習を実施しています。

また、平成25年度より市立小・中学校の教職員を対象にした上級救命講習を開始しました。万が一の際に、教職員が児童・生徒の命を守ることができるように、3年ごとに再講習を受講し、救命技能の維持・向上を図っています。

これらの取組を継続して行っていることに対して、9月4日(月)武蔵野市役所5階教育長室において、武蔵野消防署長より感謝状が贈呈されました。



小山信雄武蔵野消防署長(写真左)
宮崎活志教育長(写真右)

【主な講習】

対象	講習	講習内容
小中学校教職員	上級救命講習(1日)	心肺蘇生、AEDの使用方法、窒息の手当、止血の方法、傷病者管理、外傷の応急手当など
小学校児童 (5年または6年)	応急救護訓練(45分) など	応急手当や心肺蘇生、AEDの使用方法など
中学校生徒	普通救命講習(半日)	心肺蘇生、AEDの使用方法、窒息の手当、止血の方法など

このほか水泳指導にあたって、プール水泳指導補助員が「普通救命講習(半日)」を受講しました。

利賀村訪問・来訪事業を行いました！！

友好都市富山県南砺市利賀村と武蔵野市の交流は、昭和 47 年から始まり、武蔵野市児童の訪問は今年で 45 回目、利賀村児童の来訪は 46 回目を迎えました。

今年度は7月 25 日から 28 日まで、市立小学校の 5・6 年児童の代表 15 名が利賀村訪問団として利賀村を訪問しました。利賀小学校児童と協力しての『森の家づくり』や林業体験、魚のつかみ取りなど利賀村の豊かな自然の中で、のびのびと貴重な体験をすることができました。



完成した森の家の前で



利賀村児童来訪歓迎式の様子

また、9月6日から8日には利賀小学校の5年生3名が武蔵野市を来訪しました。7月の利賀村訪問団との交流会や四小・井之頭小での半日体験入学、児童宅でのホームステイを行いました。

訪問・来訪を通して、武蔵野市の児童と利賀村の児童の友情を深めることができました。

～中学生のスポーツの祭典～

武蔵野市市内中学校総合体育大会 開催

平成 29 年 8 月 16 日から 11 月 12 日まで、市立中 6 校、都立中 1 校（武蔵中）、私立中 6 校（聖徳中、藤村女子中、吉祥女子中、成蹊中、武蔵野女子中、法政中）の 13 校が参加し、大会が開催されています。野球やサッカーなどの団体種目と水泳や陸上などの個人種目に多くの生徒が参加し、日頃の練習の成果を發揮し、各種目で熱戦を繰り広げています。3年後の 2020 東京オリンピック・パラリンピックの際に活躍する選手がこの中から出るかもしれないと期待できる大会となっています。実施された種目と優勝・準優勝校は下記のとおりです。なお、硬式テニスは 11 月 5 日（日）に実施する予定です。



繰り広げられる熱戦

平成 29 年度 市内中学校総合体育大会 中間報告(団体戦)

種目	男女・学年	優勝	準優勝	種目	男女・学年	優勝	準優勝
バスケットボール	男子1・2年	五中	二中	ソフトテニス	男子	一中	成蹊中
	女子1・2年	藤村女子中	五中		女子	六中	四中
バレーボール	女子1・2年	成蹊中	五中	水泳	男子	成蹊中	四中
バドミントン	男子2年	四中	都立武蔵中		女子	成蹊中	法政大中
	女子1年	四中	三中		サッカー	男子1・2年	成蹊中
	女子2年	一中	四中	陸上		男子	四中
卓球	男子	成蹊中A	三中A		女子	四中	二中
		女子	成蹊中A	武蔵野女子中A			

硬式テニスは 11 月 5 日実施予定です。剣道の部は個人戦が行われ、団体戦はありません。

シリーズ 初任の先生「今日もがんばる！」 <その12>

7月21日(金)、「学習指導案の改善」をテーマに、今年度第5回初任者等研修を開催しました。

学習指導案は、授業を進める上での“設計図”です。指導主事による講義では、目標とめあての違い、児童・生徒の実態把握の重要性など、“授業で大切にすべきこと”を再確認しました。同時に「指導案は書き馴れるのではなく、一から魂を込めて作成するもの！」という教師としての姿勢の大切さも伝えられました。

また8月7、8、9日には静岡県裾野市にて宿泊研修を実施しました。7月に作成した学習指導案検討、模擬授業、校外学習における安全管理等、様々な講義・演習が行われた密度の濃い2泊3日となりました。

2学期以降、研修の成果が発揮され、ご活躍されることを期待しています。



指導主事による講義



模擬授業の様子

～地域で活躍している団体紹介 <その12>～

東京吉祥寺ライオンズクラブ

薬物乱用防止・いじめ防止は児童・生徒の未来のために！

出前授業いたします



「薬物乱用防止」授業の様子

私たち、東京吉祥寺ライオンズクラブは、武蔵野の地で生まれて12年が経ちます。地域では、青少年育成事業の「武蔵野元気フットサル大会」をはじめ、井の頭池の水質浄化運動、カーブミラーの清掃事業等の活動を行う奉仕団体です。

今回、皆さんへ出前授業したい一つは「薬物乱用防止教室」です。20年以上前から、ライオンズクラブとしての取組が始まり、今では全国的な活動として各地区で行われています。児童・生徒がDVDを視聴して薬物の怖さを知るきっかけとなり、誘因を避け、きちんと断ることができるよう指導していく授業です。もう一つはいじめの問題です。社会全体でいじめ防止を推進すべきと考えています。「いじめはあってはならない」「学級運営の失敗」と思われることもありますが、いじめはどこでも起こり、いじめの場面において多数を占める「傍観者」となる子どもを減らすべきという考え方に重点をおいており、そのために「いじめ防止教室」を実施しています。

ライオンズクラブは、児童・生徒の未来のため、忙しい先生方の補助として、また、土曜日等の公開授業の一コマにお声をいただければ教材等資料を用意して訪問いたします。

お問合わせは教育推進室または東京吉祥寺ライオンズクラブまでお電話を。

(教育推進室) 0422-60-1241

(東京吉祥寺ライオンズクラブ担当：小林) 090-3542-8686